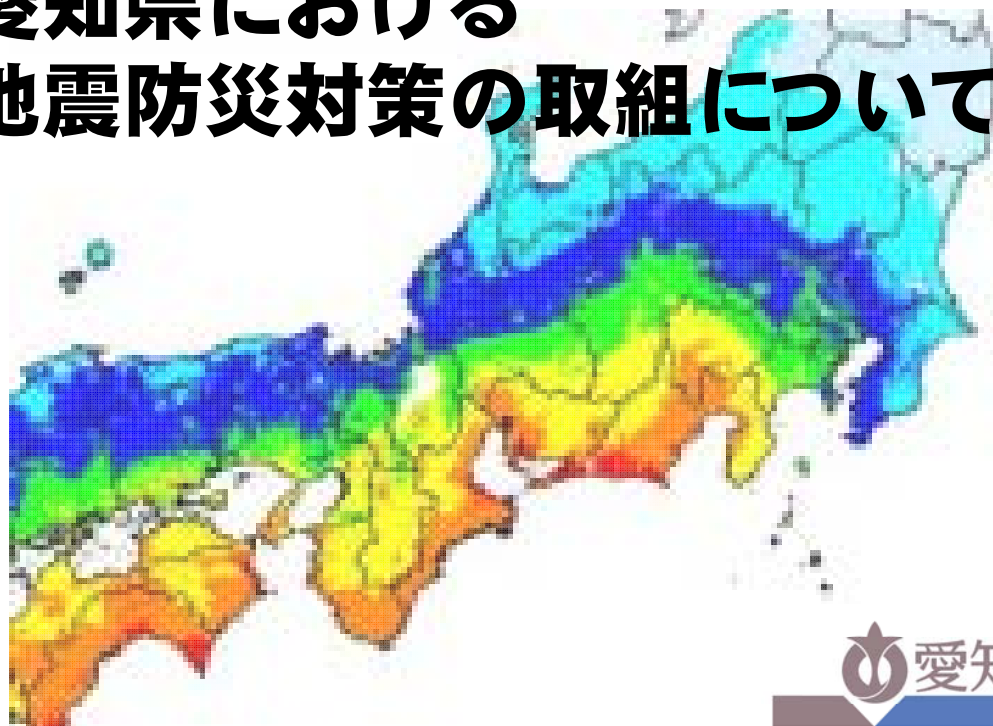


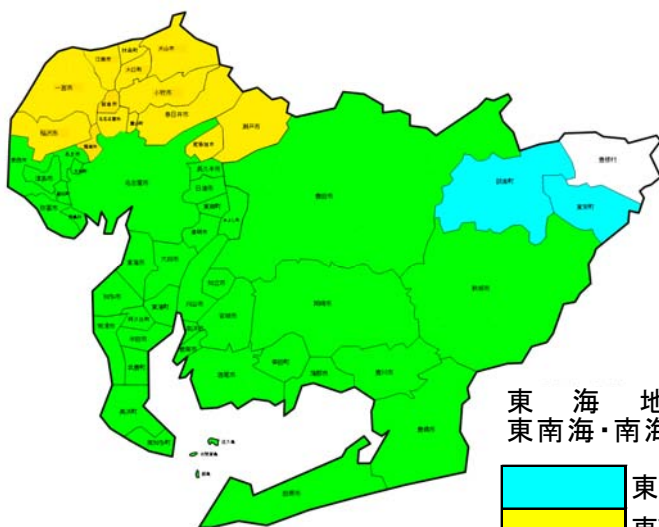
愛知県における 地震防災対策の取組について



南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布
:平成24年3月 内閣府資料



愛知県内の強化地域及び推進地域の指定状況



東海地震の防災対策強化地域:39市町村
東南海・南海地震の防災対策推進地域:51市町村

Light Blue	東海地震の強化地域のみ
Yellow	東南海・南海地震の推進地域のみ
Green	強化地域+推進地域
White	地域指定なし

(平成24年4月現在:県内54市町村)

県内54市町村のうち豊根村を除く全ての市町村が、
その両方、又はいずれか一方の地域に指定

■第2次あいち地震対策アクションプランの概要

(計画期間平成19年度～26年度)

減災目標を達成するための具体項目として、下記の14項目を設定

減災目標1(=死者数の半減)を達成するための具体項目

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① 住宅等の耐震化 | ⑦ 緊急輸送道路の橋梁の耐震補強 |
| ② 家具の固定 | ⑧ 津波ハザードマップ作成支援 |
| ③ 自主防災組織の育成・充実 | ⑨ 津波防災訓練の実施 |
| ④ 急傾斜地崩壊危険箇所の対策 | ⑩ 防災行政無線(同報系)等の整備 |
| ⑤ 密集市街地の整備 | ⑪ 高台等安全な避難地の確保 |
| ⑥ 消防団の充実・強化 | ⑫ 海岸・河川保全施設整備の推進 |

減災目標2(=経済被害額の半減)を達成するための具体項目

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① 住宅等の耐震化※ | ⑬ 企業の業務継続の取組の推進 |
| ⑦ 緊急輸送道路の橋梁の耐震補強※ | ⑭ 耐震強化岸壁の整備 |

※①、⑦の2つの目標は重複

■第2次あいち地震対策アクションプランの概要

(計画期間平成19年度～26年度)

具体的な数値目標(抜粋)

①住宅等の耐震化(住宅の耐震化率78%→90%)

⇒【住宅の耐震診断補助の実施 112,000戸】

⑦緊急輸送道路の橋梁の耐震補強

(緊急輸送道路等における橋梁の耐震化率39.7%→100%)

⇒【優先整備橋梁167橋の耐震化を完了する】

⑫ 海岸・河川保全施設整備の推進

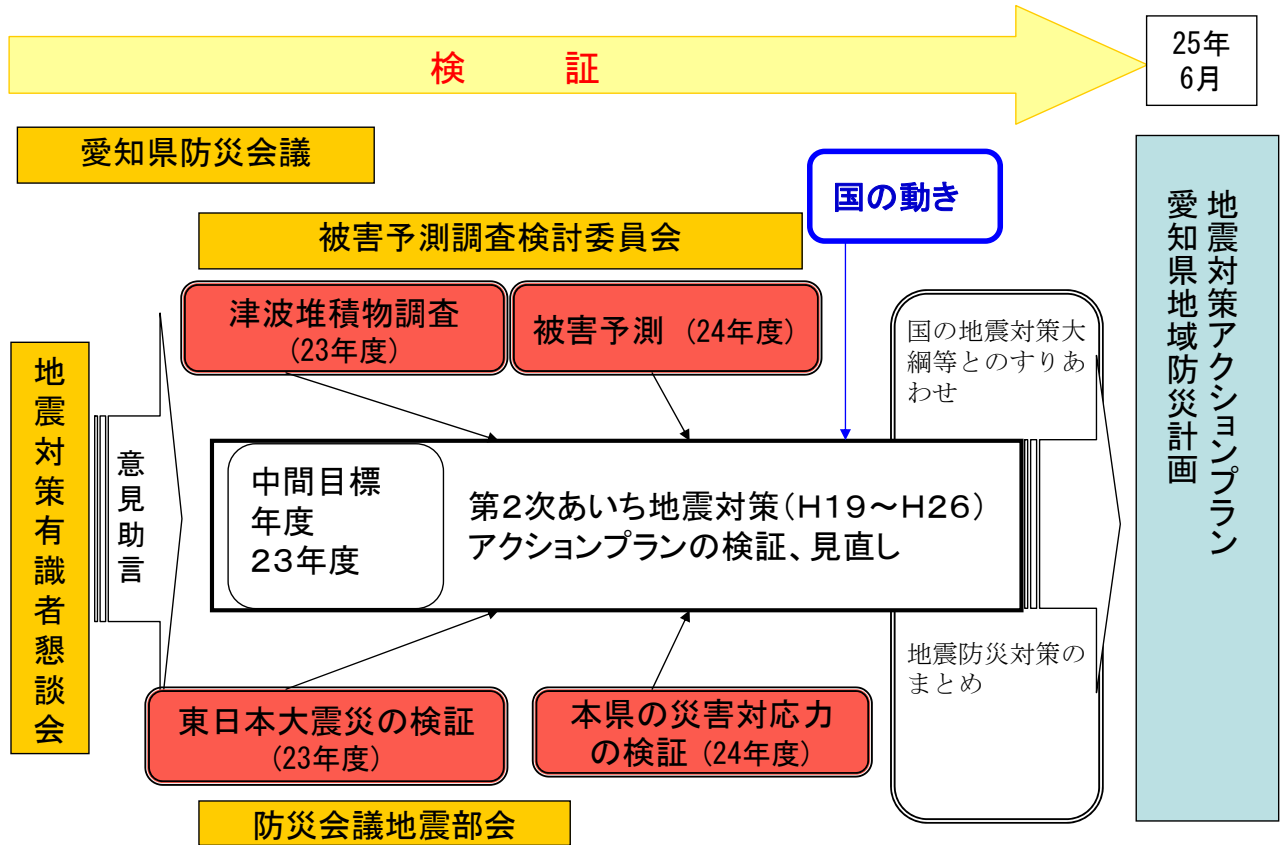
(海岸堤防(優先区間等)の耐震化率40.3%→100%)

⇒【海岸堤防(優先区間約24.3Km)の耐震化を完了する】

(河川堤防(優先区間)の耐震化率66.7%→100%)

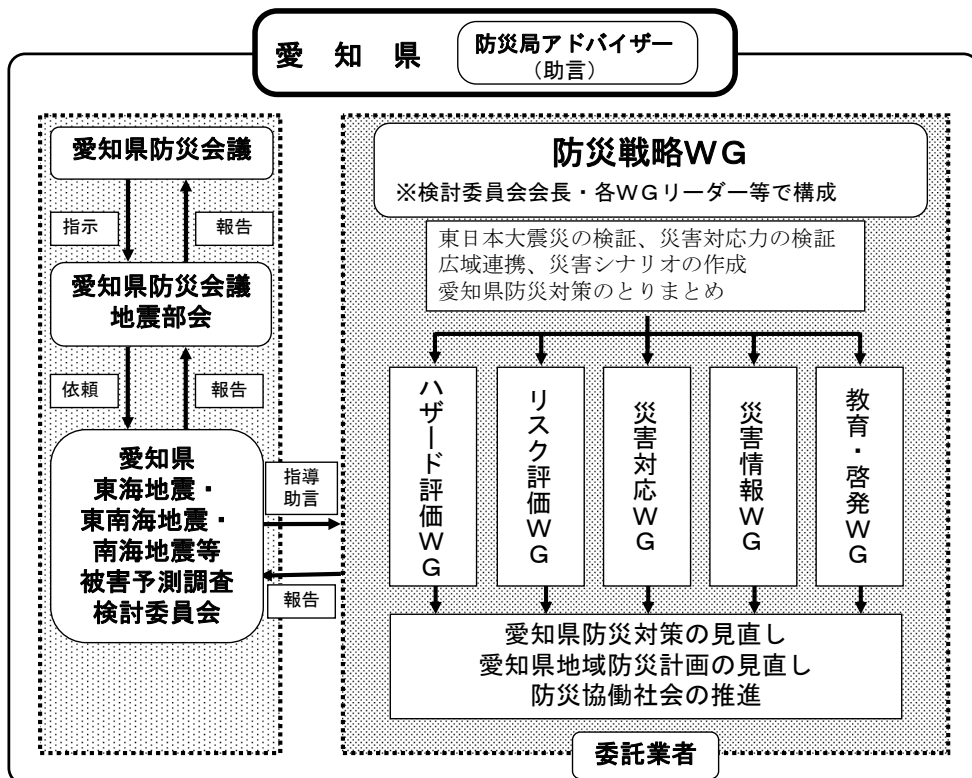
⇒【低地地域の河川堤防(優先区間約9Km)の耐震化を完了する】

東日本大震災を踏まえた地震防災対策の見直し



東日本大震災を踏まえた地震防災対策の見直し

愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査
・調査の体制



■都市の災害対応力の確保

○ 愛知県震災復興都市計画の手引きの策定

【狙い】

東日本大震災での復興計画立案の状況や課題等を踏まえて、被災後の都市の復興に関する手続きの流れや計画の考え方などを再検証する。

また、被災前の日頃から被害の最小化につながる都市計画やまちづくりを進める「事前復興対策」の推進により、都市被害の軽減や復興計画に関する合意形成の円滑化、都市復興の迅速化などを図る。

H23年度 手続き編(被災後の復興都市計画の手順(建築基準法、被災市街地復興特別措置法等による建築制限、都市計画決定)、考え方等)の策定完了

H24年度 計画編(被災状況や地域特性に応じた分類とその考え方、市町村とのケーススタディ、勉強会の実施、事前復興対策の推進について)の策定